

教員紹介

マークの説明

👤 主な経歴 📍 現在の主たる研究領域・テーマ 📖📑 各学位論文の主指導ができる教員
🧑‍🔬 臨床発達心理士の有資格者 🧑‍⚕️ 公認心理師の有資格者
修士論文の指導については、学生の研究内容により主指導担当以外の教員も論文指導を行います。
詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

庄司 正実

修 博

SHOJI, Masami

教授・研究科長 医学博士

📌 筑波大学医学専門学群卒業、筑波大学大学院博士課程医学研究科修了。現・白目大学心理学部心理カウンセリング学科教授

📌 1)少年の薬物乱用・入所非行児を対象として乱用の実態を疫学調査している。 2)産業精神保健・うつ病、職場ストレス、ソーシャルサポートなど。

倉盛 美穂子

修 博

KURAMORI, Mihoko

教授 博士(心理学)

📌 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期課程修了。福山市立大学教育学部教授、日本女子体育大学体育学部教授を経て現職

📌 専門は、発達心理学と教育心理学。主な研究テーマは、1)子どもの社会性に関する研究：「リスクを伴う遊びが子どもの発達に及ぼす影響」、2)大人の子どもの支援に関する研究：「学習や遊びにおける自己決定の効果」など。

沼田 真美

NUMATA, Mami

専任講師 博士(心理学)

📌 白目大学大学院修士課程心理学研究科修了、筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科修了。関西国際大学心理学部専任講師等を経て現職

📌 専門は、社会心理学、ポジティブ心理学等。主な研究テーマは、傷つきからの回復を促したゆるしの概念や対人関係の維持および適応に関わる心理的要因等に関して、実証的研究を行っている。

河野 理恵

修 博

KAWANO, Rie

教授・専攻主任 博士(心理学)

📌 筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。筑波大学心理学系技官・助手を経て現職

📌 専門は老年心理学と認知心理学。主な研究テーマは、1)高齢者のライフスタイルに応じた支援の構築、2)高齢者のジェネラティビティなど。

奈良 雅之

修

NARA, Masayuki

教授 文学修士

📌 日本大学文学部卒業、日本大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程満期退学、早稲田医療専門学校卒業(鍼灸師)。北里大学講師等を経て現職

📌 健康心理学、東洋医学等、1)ボティワーク・呼吸法・運動行動実施時の感情変化に関する研究、2)事象関連電位などによる選択反応行動の神経心理学的研究等。

今野 裕之

修

KONNO, Hiroyuki

教授・学長 心理学修士

📌 筑波大学博士課程心理学研究科単位取得満期退学。筑波大学心理学系技官・助手を経て現職

📌 ①対人関係の社会心理学 ②臨床社会心理学、特に自尊感情・自己制御と精神的健康の関連 ③組織のリスク・マネジメントについての心理学的研究

大嶋 玲未

修

OHSHIMA, Remi

准教授 博士(心理学)

📌 立教大学大学院現代心理学研究科心理学専攻博士課程後期課程修了。立教大学教育学開発・支援センター学術調査員、助教を経て現職

📌 専門は、産業・組織心理学(組織行動・キャリア)。研究テーマは職種におけるダイバーシティ(特に障害者雇用)推進に向けた環境づくりなど。

川端 美樹

修

KAWABATA, Miki

教授 社会学修士

📌 慶應義塾大学文学部卒業、同大学大学院社会学研究科社会学専攻後期博士課程単位取得満期退学。福島女子短期大学助教等をを経て現職

📌 社会心理学、メディア・コミュニケーション論の視点から、現代社会でメディアが人々の社会的現実認識や心理・行動に与える影響について、実証的研究を行っている。

財津 亘

修

ZAITSU, Wataru

准教授 博士(文学)

📌 立命館大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程前期課程修了。富山県警察本部刑事部科学捜査研究所主任研究官を経て現職

📌 犯罪者プロファイリング、ポリグラフ検査、目撃証言など、犯罪心理学、捜査心理学を専門とする。

心理学研究科

教員紹介

マークの説明

👤 主な経歴 📍 現在の主たる研究領域・テーマ 📖📑 各学位論文の主指導ができる教員
🧑‍🔬 公認心理師の有資格者 🧑‍⚕️ 臨床心理士の有資格者
修士論文の指導については、学生の研究内容により主指導担当以外の教員も論文指導を行います。
詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

杉本 希映

修 博

SUGIMOTO, Kie

教授・専攻主任
心理カウンセリングセンター長
博士(教育学)

📌 筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科修了。湘北短期大学生活プロデュース学科専任講師を経て現職

📌 児童期から青年期の教育臨床を専門とし、研究と実践を行ってきた。子どもの「居場所」いじめ・虐待など近年の子どもが抱える問題について研究している。

橋本 星

修

HASHIMOTO, Rui

准教授 修士(人間科学)

📌 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得後退学。国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所流動研究員、白目大学人間学部心理学部助教、早稲田大学人間科学学術院准教授を経て現職

📌 精神疾患や慢性身体疾患に対する認知行動療法を専門としている。現在は、人工知能による心理面接内の発話内容の質評価の検討や、職場のメンタルヘルス向上のための予防的支援の研究実践等を行っている。

日高 響子

修

HIDAKA, Kyoko

専任講師 博士(公衆衛生学)

📌 筑波大学大学院人間総合科学学術院パブリックヘルス学位プログラム修了。筑波大学附属病院臨床心理士、つくば市発達相談員を経て現職

📌 医療心理学を専門とし、身体疾患をもつ患者と家族の心理支援や小児がんサバイバーの精神健康支援などについて研究している。

高橋 稔

修

TAKAHASHI, Minoru

教授 修士(教育学)

📌 筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科退学。広島国際大学臨床心理学科助手を経て現職

📌 応用行動分析学の考え方や技法を心理臨床の世界にどのように応用できるかにについて研究している。現在は、Acceptance and Commitment Therapyの技法の効果検証を行ったり、不安状態中の主体的行為についてアイトラッキング装置を用いて研究している。

浅見 祐香

修

ASAMI, Yuka

専任講師 博士(人間科学)

📌 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。新潟大学人文社会科学系講師を経て現職

📌 主に、認知行動療法の立場から、依存行動や犯罪行為の維持メカニズムおよび効果的な心理学的支援について研究している。現在は、クレフトマニア(窃盗症)やギャンブル、ゲームなどの行動嗜癖を対象とした治療や予防に関する研究を実施している。

笹川 智子

修

SASAGAWA, Satoko

教授 博士(人間科学)

📌 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。早稲田大学人間科学学術院助教を経て現職

📌 社交不安症の治療と予防に関する研究を、主として認知行動論的な立場から実施している。また、精神発達病理学的な観点から、児童青年期の不適応症状の発現に関連する要因について幅広く検討している。

阪無 勇士

修

SAKANASHI, Yuji

専任講師 博士(心理学)

📌 東京成徳大学大学院心理学研究科博士後期課程を修了。児童相談所児童心理司、昭和学院短期大学助教等を経て現職。特別区の児童相談所心理療法担当職員を兼任

📌 児童虐待や不適切な養育がもたらす心理的影響に対し、生活臨床の立場から治療的に介入していく研究と実践を行っている。また、各児童相談所等において、研究者の立場から子ども中心の支援と人材育成を行っている。

黒沢 幸子

修

KUROSAWA, Sachiko

教授 文学修士

📌 上智大学大学院文学研究科博士前期課程修了。私立公立学校スクールカウンセラー、上智大学・立教大学大学院講師等を経て現職

📌 ①学校臨床心理学、スクールカウンセリング、②プリーフセラピー(解決志向、ナラティブなど)、コミュニティ臨床(ピアサポート、コンサルテーション、心理教育)

駒沢 あさみ

修

KOMAZAWA, Asami

専任講師 博士(心理学)

📌 東京成徳大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻博士後期課程修了。国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター科学研究員等を経て現職

📌 主に精神科医療の領域で、うつ病などの精神疾患に対する認知行動療法の臨床研究や、ポジティブ心理学(特に、個人の強みを活かす視点)を取り入れた研究を行っている。

心理学研究科

教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「教員紹介 検索ページ」はこちら▶



教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「教員紹介 検索ページ」はこちら▶

